

朝の礼拝

聖書 テサロニケの信徒への手紙 I 5章 16-18節 (新約 379頁)

16 いつも喜んでいなさい。17 絶えず祈りなさい。18 どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。

いつも喜んでいなさい

私はこれまで牧師として、校長として、日々起こる問題や課題と向き合ってきました。しかし不思議なことに、後でふりかえるとパウロの「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」という言葉が実感できます。

「いつも喜んでいなさい」とあります。どうしたらこの難しい問題を解決できるだろうかと考えれば、どこが原因なんだろうかと考えます。すると、今、これとこれは後でもいいじゃないか。最初にすることはこれだとなります。物事の順番が決まれば、何が一番大切なのかもはっきりしてきます。

「絶えず祈りなさい」とあります。人は困ったことが起きると、無意識のうちに自分のことを守ります。でもそれは却って自分を袋小路に追い込みます。むしろ、一旦自分を脇に置く。少し時間を置いて、待つことです。だから心を休めるために祈る時間が必要なのです。

「どんなことにも感謝しなさい」とありました。難しい問題は解決することもあれば、残念ながら解決しないこともあります。でもどちらが良い経験になったかと言えば、後になってふりかえると、むしろ残念な結果になった方です。それは教えられること、学ぶこと、後で生かされることがあるからです。心を豊かにする糧になります。だから人生に失敗などありません。意味のない人生はありません。

だから「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」とは、神様が今、あなたにとって、私たちにとって何が最も大切なのか、必要なのかをご存じだから、安心して今日という一日も神様に委ねて歩みなさいという意味なのです。

祈祷 祈りましょう

私たちを愛し、励まされる主よ。

あなたはパウロを通して喜び、祈り、感謝する日々の素晴らしさを伝えて下さいました。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、あなたの祝福のうちに歩ませて下さい。

主イエス・キリストの御名によってお願いいたします。アーメン